

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成 30 年 11 月 28 日

都市名・国 富士市

取組の名称	2018 平和のための富士戦争展
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input checked="" type="checkbox"/> NGO (核兵器廃絶平和富士市民の会) <input type="checkbox"/> 複合
テーマ・目的	平和の啓発、核兵器廃絶、記憶の継承
対象者 (年齢・学年、人数等)	富士市民 約 1,900 人
実施場所	富士市文化センター ロゼシアター展示室
実施期間	平成 30 年 8 月 10 日～平成 30 年 8 月 15 日 (6 日間) ※毎年 8 月に実施。
<p>取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の真実と平和の尊さ伝えることを目的に開催した。 ・展示内容は、戦争の悲惨さを伝える実物資料や遺品、当時を伝える写真、書籍、絵。 ・開催期間中は、会場で毎日、富士市内在住などの戦争体験者などによる語りを行った。 ・主催団体が市内の高校に働きかけたことにより、会場運営のボランティアとして総勢 62 人 (4 校) の高校生が参加した。 	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の来場者は、延べ 1931 人。開催期間中は、夏休みということもあり、小学生の子ども母親が実物資料の説明をする姿も見受けられた。 ・来場者のアンケートでは、次のような声が挙げられた。 <ul style="list-style-type: none"> ▼学校の授業で戦争について学んでいたけれど、見たことのない資料もあって、新しいことを知ることができた。被爆者の苦しみ、決して治らない心の傷を知ることができた (15 歳) ▼娘の夏休みの宿題で足を運んだ。戦争について何も知らない娘が、戦争展をきっかけに何か感じ、考えてくれたら嬉しい。ぜひ今後も続け、若い世代に伝え続けてほしい (38 歳) ・開催期間中、全ての日程においてボランティア活動した女子高校生は、「私たちのような世代が戦争の実態を知るべきだと実感しているので、全ての日程で会場の手伝いをした。私も平和の大切さを伝えていける人になりたい」と話した。 	
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年で 31 年目となるこの展示会には例年多くの人が訪れ、多い年には 4,000 人近くが来場することもある。 ・主催団体が、富士市教育委員会に開催の告知を依頼したこともあり、来場者の 43%が 10 歳代の若者だった。戦争を知らない世代への平和の啓発の場となっている。 ・富士市にゆかりのある語り部は、活動の場が少ない現状があるが、この展示会が、語り部の活動の場となり、かつ、市内に戦争の語り部がいることを周知することに繋がるため、語り部が市内の小・中学校で語りを行うきっかけになっている。 	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者の内訳は、10 歳代 (43%)、次いで 60 歳代 (22%) であるため、若者の親世代にも平和の啓発をしていく必要がある。 	
<p>取組で使用した素材について</p> <p>実物資料、参考書籍、写真、絵、戦争体験者証言をまとめた資料</p>	
<p>上記素材の共有の可否 (取組で使用した素材を、平和首長会議の WEB サイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



戦争の実物資料



来場者（親子連れ）



10歳代が多く訪れた